

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	雨宮 怜	所属	筑波大学大学院
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会 健康・スポーツ・臨床心理若手研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 7名 (うち認定心理士 2名) 非会員 8名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、①健康・スポーツ・臨床心理学の研究の発展に貢献すること、②基礎研究から実践研究に至る幅広い視野を育成すること、③若手研究者間のネットワークづくり、の3つを目的としている。</p> <p>日本心理学会より助成を受けた本年度は、定期的な研究会活動をはじめ、日本心理学会第78回大会における公募シンポジウム、夏(8月)と春(2月)に公開研究会と多様な活動を行うことができた。</p> <p>具体的には、定期的な研究会では、①研究発表、②技法実践、③論文の輪読の3つの活動を中心に研究会メンバーで分担し行った。また、日本心理学会第78回大会における公募シンポジウムでは、「若手研究者が考えるスポーツ競技者に対する心理学的アプローチ」というテーマにて、本若手研究会で得られた知見を発表した。内容は「東京オリンピックを6年後に控えた今、競技スポーツの持つポジティブな側面とネガティブな側面に着目し、スポーツ競技者のメンタルヘルスの向上やスポーツ活動による精神的成長を意図した支援について、様々な視点から考えたアプローチ方法」であった。さらには、夏(8月)と春(2月)に研究会会員以外の参加を募って公開研究会を行った。多くの若手研究者に参加して頂き、実りある場となった。</p> <p>来年度も今年度に引き続き、定期的な研究活動に加え、シンポジウムや公開研究会を予定している。また、研究会内における共同研究の活発化や様々な領域へのセミナー活動を計画している。</p> <p>日本心理学会より助成を頂いたことで、各大学機関の教室等の使用が不可となった場合にも、会議室を利用し研究会を実施することが可能となりました。また、研究会の活動報告書を作成し、活動の記録と広報を行うことができました。研究会の発展的な活動にご助力頂いたことに深く感謝申し上げます。</p>		

2015年 3月19日

日本心理学会研究会 2015 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 健康・スポーツ・臨床心理学若手研究会

研究会番号 研14015

助成金額 ¥50,000

年 月 日	項 目	金 額
2014年10月1日	会場費（アットビジネスセンター池袋駅前別館）	¥4,536
2014年11月13日	会場費（アットビジネスセンター池袋駅前別館）	¥4,536
2014年12月20日	会場費（ルノアール新宿区役所横店会議室）	¥7,407
2015年3月3日	会場費（アットビジネスセンター池袋駅前別館）	¥21,384
2015年3月19日	資料制作・印刷費（研究会報告書印刷費）	¥14,954
支出合計		¥52,817